

JFE テクノリサーチ株式会社様納入装置

大型複合サイクル試験機

大型試料 300kg 重量物に対応



引き出し式の試料取付台

■概要

大気環境における塩害腐食をシミュレートする試験で塩水噴霧→乾燥→湿潤等を繰り返す複合サイクル試験が可能です。通常の試験片の他に最大奥行180×高さ150×幅120cm、300kgまでの試料に対応可能な大型の試験機です。4分割の試験片保持器、引き出し式の試料取付台など使い勝手を考えた設計です。

■特長

- 1.試験槽はチタン製で耐食性に優れています。
- 2.奥行180×高さ150×幅120cmの大型試料が試験可能で、試験槽床の耐荷重は300kgfです。
- 3.試験片を設置する試験片保持器は試験槽奥の試験片が取り出しやすい4分割方式で、台車で引き出しが可能です。

■仕様

適用試験 温湿度範囲	塩水噴霧	温度:35±2℃ 噴霧液:5%中性塩水
	乾燥1	温度:20~70±2℃ 湿度:25±7%rh (60℃において)
	乾燥2	温度:23±2℃ 湿度:50±5%rh
	湿潤	温度:50~70±2℃ 湿度:95 $\pm$ $\frac{5}{7}$ %rh (40℃・50℃において)
	外気導入	約外気温度 (温湿度制御なし)
	低温	温度: -20~20±2℃
	湿潤 (高湿)	温度:50±2℃ 湿度:95%rh以上 (JASOサイクル時)
試験片	寸法:約150×70×t0.4mm以上 t3.2mm以下 取付数:432枚 (保持角15° 又は20° に於いて)	
大型試験片	寸法:約180×150×120cm 取付数:太陽電池フルパネル2枚 (保持角15° に於いて)	
試験槽床耐荷重	300kgf (床等分布荷重)	
試験槽内寸法	約幅150×奥行200×高さ195cm	
本体寸法	約幅295×奥行357×高さ300cm	
電気容量	3相200V 約123A	
運転質量	約3000kg	

技術担当:佐藤秀俊 日高・川越工場 製造部 腐食技術課 課長



太陽電池パネル用試料台



試験片 (150×70mm) が最大432枚試験可能な
試験片保持器 (4分割方式)

JFE テクノリサーチ株式会社様ご紹介

JFEテクノリサーチ株式会社様は千葉県千葉市にある『耐候性評価センター』に新たな試験棟を建設して、塩害試験用大型複合サイクル試験機や低温可能な塩害サイクル腐食試験機など各種試験機を拡充しました。特に塩害に関しては従来からある塩水噴霧試験、CASS試験等も含めて20台の試験機を完備しており、最近のニーズに対応した耐候性評価センターとして受託試験サービスを展開しています。左頁で紹介した装置の導入により、従来では試験できる受託試験機関が殆どなかった、太陽電池パネルや、300kgまでの自動車構成部品など大型重量物の塩害試験が可能となりました。

■耐候性評価センター概要

近年の地球環境変化も影響して、各種の材料、部品、製品の長期間にわたる環境劣化を加速して評価する耐候性試験は益々重要性が増大しています。最近では、従来の部材、パーツでの評価ではなく、製品そのものの耐候性評価が必要とされており、大型・重量物への対応が可能な試験設備が求められています。大型の太陽電池パネルの塩害試験などはその典型であり、また自動車構成部品などの重量物の試験や、従来より高温試験などもニーズが増大しています。

2011年に開設した耐候性評価センターにおいて、環境劣化試験の受託サービスを展開しています。

(JFEテクノリサーチ(株)様ホームページより抜粋)



耐候性評価センターの新試験棟

■ご使用頂いている試験機（一例）



サンシャインウェザーメーターS80H型

上下4対のサンシャインカーボンを使用。約78時間連続点灯の連続照射型です。照射と照射+降雨のサイクルを全自動運転します。ブラックパネル温度83℃試験可能。

■お問合せ■

JFEテクノリサーチ株式会社 東京営業所
〒111-0051
東京都台東区蔵前2-17-4 JFE蔵前ビル3F
TEL 03-5821-6811 FAX 03-5821-6855